

CORPORATE PROFILE

投資の未来を切り拓く 証券会社



いつも、いつでも、いつまでも



岩井コスモ証券株式会社
IwaiCosmo Securities Co.,Ltd.

投資の未来への羅針盤。

投資という領域はいわば、未知の大陸に向かう航海…。

順風満帆の時もあれば、大波の海原に恐れを感じる時があるかもしれませんね。

刻々と変化する環境を的確に見極め、迅速に対応し、

一日も早く、安全に目的地に到達したいものです。

卓越した知識と豊富な経験、それこそが安全・安心の航海に必要なもの。

新しい情報、充実したサービスなどきめ細やかに提供して参ります。

私たちは、「顧客第一主義」の考えを貫きながら、

あなたの航海の確かな道標として、最高の羅針盤でありたいと考えています。



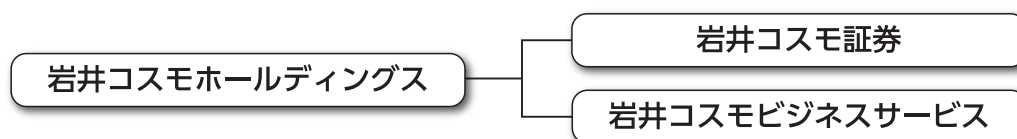


会社概要

商号	岩井コスモ証券株式会社
代表者	代表取締役会長 CEO 沖津嘉昭 代表取締役社長 COO 笹川貴生
本店所在地	大阪市中央区今橋一丁目8番12号 TEL (06) 6229-4600 (大代表)
設立	大正6年12月18日
資本金	135億円
登録番号	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
加入取引所	東京証券取引所 大阪取引所 名古屋証券取引所 福岡証券取引所
ホームページ	https://www.iwaicosmo.co.jp/



グループ会社



役員

取締役

代表取締役会長	CEO	沖津	嘉昭
代表取締役社長	COO	笹川	貴生
専務取締役		松浦	弘也
常務取締役		菅野	裕夫
取締役		井上	利裕
取締役		佐々木	茂夫
取締役		齊藤	行巨

監査役

常勤監査役	竹内	俊晴
監査役	山本	洋一

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 ※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

岩井証券株式会社

1915年5月
岸和田において岩井商店を創業

1944年7月
岩井証券株式会社設立

1969年9月
本社を大阪市に移転



2006年2月
東証第一部上場

2006年5月
大証第一部上場



岩井証券設立準備株式会社

2010年4月
岩井証券設立準備株式会社設立

2010年7月
岩井コスモホールディングス株式会社へ
商号変更

2010年7月
岩井証券株式会社（現、岩井コスモホールディングス株式会社）から金融商品取引業務等を承継し、岩井証券株式会社へ商号変更

2012年5月
岩井証券株式会社とコスモ証券株式会社が合併し、岩井コスモ証券株式会社へ商号変更

コスモ証券株式会社

1917年12月
大阪市において株式会社野村商店設立

1923年7月
株式会社大阪屋商店に商号変更

1943年3月
大阪屋證券株式会社に商号変更



1979年5月
東証・大証第二部上場

1981年3月
東証・大証第一部上場

1986年2月
コスモ証券株式会社に商号変更

1990年2月
名証第一部上場

1993年9月
株式会社大和銀行（現、株式会社りそな銀行）の子会社となる

2004年9月
株式会社CSK（現、SCSK株式会社）の連結子会社となる

2008年7月
東証・大証・名証において上場廃止となる

2008年8月
株式会社CSKホールディングス（現、SCSK株式会社）の完全子会社となる

2010年4月
岩井証券株式会社（現、岩井コスモホールディングス株式会社）の完全子会社となる



岩井コスモ証券株式会社

事業継承



営業形態

岩井コスモ証券では、「対面取引」、「コール取引」、「ネット取引」の3つの取引チャンネルをご用意し、お客様それぞれのニーズに柔軟かつ的確にお応えできる体制を整えております。



対面取引

担当者が、お客様一人ひとりの資産運用をお手伝いする総合的なコンサルティングサービス。情報提供から運用相談まで、力強くサポートします。「プラスネット」でオンラインサポートも充実！



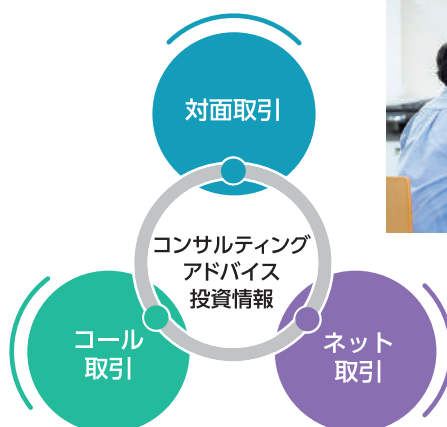
コール取引

お電話1本で安心してお取引。経験豊富な専任担当営業員が、発注から決済までスムーズにサポートします。「プラスネット」でオンラインサポートも充実！



ネット取引

パソコン・スマホを利用したオンライントレード。取引スタイルに合わせて、割安な3つの手数料コースをご用意。お客様のペースでご利用いただけます！



※「対面取引」「コール取引」「ネット取引」のそれぞれの取扱商品および手数料の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

当社アナリスト等による各種セミナーの開催や、WEBやSNSを利用した積極的な情報提供など、お客様のニーズに合ったサービスの充実を図っております。



岩井コスモ証券グループの取り組み

コーポレートガバナンス

当社グループは、株主をはじめ、お客様、役職員、取引先、地域社会など広く様々なステークホルダーの立場を踏まえたうえで、経営の透明性・活動の公正性、意思決定の迅速性、適切な情報開示の実現が最重要と考え、その実行性を高めるための体制を構築しております。

持株会社である岩井コスモホールディングスは、取締役6名中3名が社外取締役、子会社の岩井コスモ証券でも取締役会に2名の社外取締役を配置することで、ガバナンスを強化しています。

事業計画・執行・管理

持株会社である岩井コスモホールディングスの取締役会は、グループ全体の戦略策定、グループ各社の経営方針を決定すると共に、グループ経営計画を決定いたします。

グループ各社は、グループ経営方針に基づいた事業計画を策定し、目標達成に向けた事業の執行、および進捗を管理し、定期的に岩井コスモホールディングスへ報告できる体制を構築しております。

岩井コスモホールディングスは、グループ各社の事業計画の進捗を管理し、必要に応じてグループ会社へ指示するなど、グループ全体でPDCAサイクルを回しながら、事業計画の推進を図っております。

コンプライアンス

当社グループでは、コンプライアンス（法令遵守）が内部統制システムを実効性あるものとするために不可欠であると認識しております。

また、岩井コスモ証券においては、金融商品取引業者として、投資者保護と金融商品取引市場の健全な運営のために、コンプライアンスを重要課題の一つとして認識しており、役職員に対しては、コンプライアンスに関する研修を継続的に実施し、コンプライアンスの意識の向上、および顧客本位の倫理観を持った従業員の育成に努めております。

コンプライアンスの実施状況や確認された問題点については、取締役会やコンプライアンス会議に報告し、経営陣が常にコンプライアンスの状況を把握できる体制としております。



SDGs(エスディージーズ)



次の100年に向け、持続的な成長、更なる発展を目指した取組みを進めております。

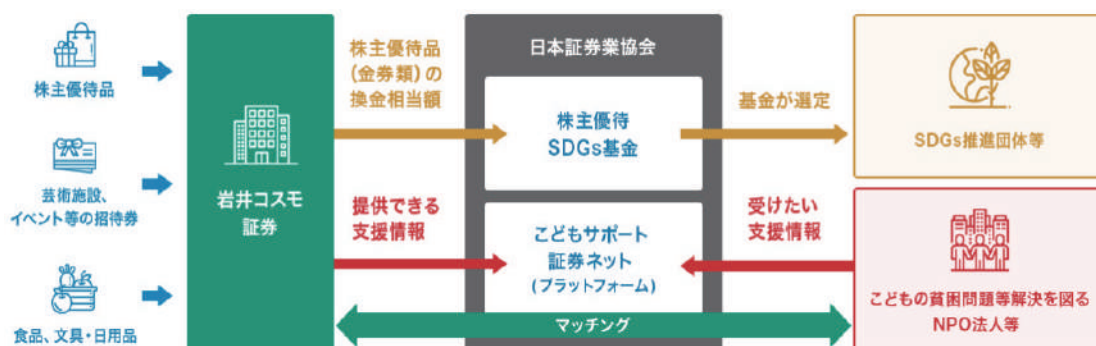
お客様、株主様、お取引様、地域社会、従業員とそご家族のすべてのステークホルダーの皆様と更なる発展や、持続的な成長を遂げるため、環境や社会的な課題に積極的に取り組んでおります。

株主優待品等の有効活用



当社が受け取る株主優待品等のリソースを、SDGs支援として有効活用できるよう、日本証券業協会が運営する「株主優待SDGs基金」や「こどもサポート証券ネット(マッチングプラットフォーム)」に、更に「こどものみらい古本募金」にも当社は参加しております。

「こどもサポート証券ネット」では、参加証券会社の中で最多となる171件の支援活動(2023年4月現在)に貢献してまいりました。



社会貢献活動



当社グループでは、企業活動を展開するうえでCSR（企業の社会的責任）の取組みが重要であると認識しています。そしてCSR活動の継続性を目的として、発生した利益を元にした『社会貢献積立金』を設置し、当期純利益の1%程度を毎期積み立て、医学・医療の発展や自然環境保護、災害支援活動などへの寄付を通じて地域社会に貢献してまいります。また、従前より以下のような寄付活動に積極的に取り組んでまいりました。



寄 附 先	支 援 の 目 的
国立大学法人 京都大学 iPS細胞研究基金	iPS細胞の研究推進
大阪府	梅田北ヤード(うめきた)みどり推進事業、 消防団の活性化
公益社団法人 上方落語協会	上方落語の発展
アーツサポート関西 (公益社団法人 関西・大阪21世紀協会)	関西の芸術や文化活動の発展
公益財団法人 梅ヶ枝中央きずな基金	ひとり親家庭等の子供達に就学機会を提供

充実の社員教育



金融商品や金融市場に関する専門知識の習得を目的とした研修や、世界の最先端技術を持つ企業に関する見識を広げることを目的とした海外視察を実施しております。

新入社員には、新人研修のほか、配属後は専任のOJT担当者が付き、業務に必要な知識やスキルの向上が図れます。

また、各種資格の勉強会や受講補助など資格取得に資する制度を設けており、従業員に成長機会を与え自律型人材の育成に注力しております。



多様性確保と女性の活躍推進



- ・2012年に、子育てサポート企業として厚生労働大臣が認定する「くるみん」を取得しました。
- ・時短・時差勤務の適用期間を法定より長く適用するなどし、育休後の高い復職率を維持しています。
 - 2022年度：7名中6名（男1女5）復職
 - 2021年度：11名中11名（男2女9）復職
 - 2020年度：5名中5名（男1女4）復職
- ・当社グループの管理職のうち、女性比率は18.4%、中途採用者比率は38.7%（2023年3月末時点）となっており、多様性の確保に向け、女性や中途採用の区別なく、これを高めていくことを目指しております。





■ワークライフバランスへの取組み

8 働きがいも
経済成長も



当社グループでは、従業員が、仕事と子育て、介護を両立できるよう、短時間勤務や時差勤務、直行直帰などの多様な働き方に対応した制度について整備を行い、また、場所にとらわれない柔軟な働き方を実現するために、従業員にタブレット端末の貸与や、自宅からでも業務ができるようテレワーク環境の整備を行っております。

さらに、労働生産性の向上による時間外労働の削減についても全社をあげて取り組んでおります。

- ・ 2019 年 総務省「テレワーク先駆者百選」に選出
- ・ 2020 年 日本テレワーク協会「第 20 回テレワーク推進賞 - 奨励賞 -」に選出



■デジタイゼーションによるお客様サービス向上とペーパーレス化

8 働きがいも
経済成長も



13 気候変動に
具体的な対策を



- ・ タブレットを全営業員に貸与し、多くの紙を必要とした営業資料や確認書等を電子書面化し、ペーパーレスを推進しております。
- ・ RPA(Robotic Process Automation)を利用した事務作業のオートメーション化を進めております。先行導入部署では、1人あたりの作業時間が1時間も短縮した事例もあります。
- ・ AIを活用した音声認識システムを導入し、営業員とお客様の通話内容を、より精緻に、かつ効率的にモニタリングすることが可能となり、コンプライアンスの強化を図っております。
- ・ インターネットやSNS等を活用したお客様への情報発信や、様々なデータを活用した効果的な営業の実現を図り生産性の向上に取り組んでおります。
- ・ 社内書類をワークフロー化するなど、スピーディな手続きの実現とペーパーレス化の推進に取り組んでおります。



■環境負荷の軽減



- ・営業車をガソリンの消費が少ない低燃費車に入替え、CO₂の削減に努めております。
- ・走行時にCO₂を排出しない、環境に配慮した電気自動車「サクラ (SAKURA)」を営業車として導入しました。
- ・本店ビルおよび東京本部ビル（茅場町グリーンビル）の照明について、電力消費の少ないLED照明を採用しております。また、各営業店についても順次、LED照明への切り替えを行っております。
- ・東京本部ビル（茅場町グリーンビル）は、「ハイブリッド輻射空調システム」を採用した最先端の省エネビルです。
- ・当社グループが使用する封筒を、古い紙幣（紙幣裁断屑※）を再利用した封筒に変更しております。また、窓空き封筒の窓部分の素材は、セロハンではなく紙を原料とするグラシン紙を採用しております。
※廃棄される紙幣の裁断屑に古紙を混入（裁断屑30%）し作られた紙幣裁断屑の再資源化という新しい視点で開発された環境に配慮した製品
- ・当社グループの名刺※や手持ち袋には、石灰石を主原料とする、紙やプラスチックの代替となる新素材である「L I M E X（ライメックス）」を使用しております。
※名刺のL I M E X化は「名刺100枚で10リットルの節水」と言われており、当社グループの利用実績に当てはめると、年間約1.7万リットルの水資源の保全につながっております。

■文化活動の支援



文化活動を支援する一環として、様々な活動に協賛または寄附をさせていただきました。

- ・サントリー1万人の第九
- ・天満天神繁盛亭(落語専門定席)
- ・ピンクリボン(乳がん対策)
- ・公益財団法人 大槻能楽堂
- ・OSAKA天の川伝説
- ・こども本の森 中之島



当社グループは、国連において採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向け環境問題や社会課題の解決に加え、地域社会の貢献に積極的に取り組んでおります。



いつも、いつでも、いつまでも



岩井コスモ証券株式会社
IwaiCosmo Securities Co.,Ltd.

<https://www.iwaicosmo.co.jp/>